

令和6年度 林業普及週間現地情報 (11/18～11/24)

森林管理課

宮古の産業まつり

11月25日 (月)

令和6年11月23～24日の二日間、宮古島市役所庁舎と市民広場において「第47回宮古の産業まつり」が開催され、宮古農林水産振興センターからは1ブース出展した。

宮古の産業まつりは島産品（県産品）に対する消費者意識の啓発を目的として開催される。本センターは宮古島産材に関する普及啓発を目的とし、島産材を利用した寄木コースターの作成体験を行った。今回使用した材は、島産材（イヌマキ、テリハボク、フクギ、リュウキュウコクタン）と県産材（リュウキュウマツ、クスノキ）であり、それぞれの木の特徴を説明すると、皆興味深く聞き入り、実際に材片を手にとると、色の違いや香りを楽しんでいる様子であった。

また、ブース内では県産木製品の展示と、「沖縄の森林・林業」や「県産きのこ」に関するPR動画の上映を行った。木製品を手に取り、樹種によって重さが異なることに興味を示す方や、どこで購入できるのか、価格はいくらか、という質問も多く寄せられ、県産木製品のPRに繋がっていることが伺えた。PR動画に足を止め、近くに設置していた「沖縄の森林・林業」（冊子）や県産きのこに関するパンフレットを手にとる方も多かった。

引き続き宮古島内の森林・林業の取り組みに関して普及啓発活動を進めていきたい。



▲寄木コースター作成の様子



▲来場者へ県産木製品の説明の様子



▲出店ブース（展示等）の様子

（報告者：宮古農林水産振興センター
仲宗根、山城、玉城）